

20期新報

島マス記念塾
事務局担当
無責任編集
TEL937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM



読谷村のコミュニティビジネス

フィールドワーク

F W II 親川善一先生

地域での連携を学ぶ



仲宗根朝治さん (FMよみたん)

「文房具めぐり」は、「お仕事の楽しさ」を伝えるために、お仕事をしながら、お話を伺いました。

「吉高由里」は、「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「なまこ」は、「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」



「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」

「お仕事をしながら、お話を伺いました。」



親川さんありがとうございました！

たく、ごーぐち、ひゃーぐち、唄たい、踊ーたいしながら、「ちむぐるさん」の精神で繋がる事業が出来たらいいねーとありえず、15年ならなくらいまでにやろうぜ！では！

(ケンちゃん)

▼FMよみたん代表の仲宗根さんは、ユニターザむらおこし塾の3期生の集まりとの出会いもあり、今の仲宗根さんがあるのですね。村おこし(風揚げ・地ビールなど)の失敗、無職、FMの立上げ、人間関係のもつれと信頼。ここまで15年と言う月日はかかったが



地域・行政・市民の一体が絶妙なバランスで保っている。すごい

できたのですね。『たまたま』と言っていたが、すごい行動力と思考だろーと思いましたが、商材ラベルやリバーシブル箱、面白いアイデアですよね。私もパクリうと思えます。山内



さんの事だ『どんだん真似してください』と言うに違いありません(笑)。かまぼこ屋さん見学ではマブヤーチーズ入りかまぼこ美味しかった。でも私のマブヤーじゃなくてハブデービルだった(涙)。むら咲むらの取り組みの国吉真哲氏は行政・商工会・市民の一体化ってなかなか出来ない事なのに読谷はやっていく。そして、それがうまく行っている。ここ

思いは皆一つ『読谷の為』。根底は一緒。こうして体験型施設むら咲むらができたんですね。今後は沖縄市でも行政と市民の一体が出来たらすごいですね。親川さんの繋がりがあっての今回の講義だったんでしよう。楽しかったです。ありがとうございます(良子)

▼今回の読谷村のコミュニティビジネス視察研修ツアーで読谷村民(読谷ちゅ)の印象が変わるくらいインパクトがあった。これまでは、地元と区別したり、クセが強い人がいるマイナスのイメージを持っていた。しかし、今では団結力が強く、人材が豊富で有志ががんばっている地域だと思えます。読谷村民だけが良ければいいのじゃなく沖縄県民の為に



ぜひ活躍してほしいと現在は願っています。今では読谷村からの刺激が沖縄県、沖縄市、島マス塾での地域づくり、地域の活性化に役立つと感じます。(満)▼仲宗根さんのお話は、人は何かを失った時に這い上がる力がほしくても、個人では限界があり、信念やぶれない気持ちと情熱が相手に伝わり、思う方向へと進む道を開き、信頼をなし得るまでの課程と背景に様々な人間模様と苦難があり、それをエネルギーにかえさせた周囲の環境などに情熱を感じました！山内産の話は、地産地消を元に、普段の生活の中からの発想で、試行錯誤しながら販売に至るまでの経緯に「誰でもできる事で、皆さんでもできます」との言葉が頭に残っています。夏野菜のオクラもたく

さん収穫できるので、オクラの食感を生かし、アイスクリームにしてみてもいいと思います。色々なバリエーションの野菜アイス作りで、沖縄市も地産地消しましょうか(笑)。国吉社長の話は、32の沖縄体験工房や宿泊施設の完備、沖縄を「知る」場所として伝統工芸・踊りなどが体験できるため、県外・海外の方へ案内しやすいです。沖縄の読谷村をア



ビールできる発信源の一人となる事が、沖縄の観光産業の発展にもつながると思います。私自身も今回のFWで読谷村をPRできる一人になりました。今回3者3様のお話しの中で発想・実行し続ける努力、それを生かす環境、生かせる環境作りなどを学ばせていただき

きました。ありがとうございます(美奈子)▼(FMよみたん)企業までの道のりを、面白おかしくお話ししてくれた仲宗根社長。卒業して15年って長いけど、その期間に同志達と語り議論した結果が今の仲宗根社長という人を創っているのかもしれないですね。勢いのある仲宗根社長でしたが、人は熱い志だけではトントン拍子で会社はつけない事を語っておられました。これを聞いたときは肩を落としました。特に起業したいわけじゃないですが、夢と希望を持っていればどんな困難にだって！なんてのが甘い考えと分りました。しかし、自分の軸をブレないようにすることは、何に對しても通じることなんですよ。地域のために一生懸命の仲宗根社長がキラキラして



な？よいアイディアが湧き出るように、私もアノチはうて、キャッチできるように構えておかないと！また、もずパーガーの美味しさと安心感動！料金を支払う時も、地域にお金が落ちていると思えば気持ちよく支払える、なんか購入している時から嬉しかったです。もつともつとお話聞きたかったですね。(むら咲

村のコミュニティビジネス)『Mrコミュニティマン』って言葉がピッタリの山内さん！せっかくなお休みの中、私たちのためにボランティアで講演してくれてホントありがたいです！新たな産業を創りだして、地域の活性化や雇用まで生み出す！これぞ、地域貢献のエキスパートですよ。あと、ヒントは日常の至る所に隠れているってこと。日々の出来事、話した内容で神様からのプレゼントなのか

むら) 仲宗根社長、親川氏が「読谷村のキーパーソン」というから、どんな明朗快活な方なのかと思っ
ていたら、腰の低い朗らかした国吉社長なのに驚きました！
脳ある鷹は爪を隠す？
といいますが、やはり人は見た目じゃ分
からないものです。す
ごいのは、本業が



洋服屋さんというこ
とですよ！観光場所
としてに立ち寄る事



が少なかつた読谷を、
今や感動体験のテー
マパークとして修学

旅行生を呼び込んで
いる！また、沖縄の
イメージ「ゆつくり
した時間(うちなな
タイム)」を感じて
もらう工夫としてホ
テルも設けているト
コがニクイです。客
室番号も沖縄の名字

にしたりと、遊び心
があるのが面白いかつ
たです。ちよつとし
たことだけれども、
観光客に沖縄を存分
に楽しんでもらおう
というおもてなしの
心を感じられる国吉
社長の講和でした。
まとめとして親川氏
の言った『一隅を照
らす、これ即ち国宝
なり』今を一生懸命
がんばったことで、
自分の家族や友人が、
結果的に地域、国レ
ベルを元気にし貢献
できるのかもしれない！
と今回のフィールド
ワークに参加して感
じました。御三方共
ホント素晴らしい方
ばかり！私も見習っ
て「自分出来るこ

文がお決まりでしたら
お電話ください！』と
言つてしまい、お客様
の『電報を打つよ』と
の返しに思わず笑みが
こぼれました。お店の
PRをどうぞ「NBC
へお越しの際には、ホッ
ト一息ラウンジと一杯
のコーヒ
でおくつ
ろぎくだ
さいませ」

とは何か？」これか
ら考えていきたいと思
います。(千尋)



▼仲宗根さんの話で
は、「地域や勤務し
ている会社に、メリッ
トがあるようにイメー
ジしないといけない
事」を改めて、塾生
の立場を考えさせら
れました。この島マ
ス塾が終わつても、
この塾生同士で何か
をやり続けるものを
作りたいと思いまし
た。山内さんのお話
では第6産業の、食
品開発発想が面白かつ
たです。また「読谷
村が県民の胃袋を満
たせられるとは思っ
ていない。だから、
周りのみんなが真似
をしてほしい」の言
葉で、第1次産業

(農家や漁民)の取
入向上を一番に考え
ている所に尊敬しま
した。国吉さんは、
村づくり・地域づく
りには、様々な衝突
を避けて通れない事
や、各関係者の意識
を一つにする大切さ
を感じました。商工
会・行政など仕事内
容が違えど、目的は
一つであることを意
識し、お互いの立場
を解り合う努力をし
て、お互い助け合う
方法を見出すのかな
と思いました。



もずく丼、ほんとに
ご飯とよく合います。
美味しかったです。

▼ツアーガイドانس
の親川善一氏のもと
①FMよみたん②読
谷村役場③読谷村漁
港④体験王国むら咲
むら⑤ゆんた市場を
訪問しました。

①FMよみたんで仲
宗根朝治代表取締役
のお話をラジオ局内
で拝聴。ラジオ局開

②読谷村役場で山内
嘉親氏(読谷村建設
経済部商工課観光課)
より読谷村のコミュ
ニティビジネスの取
り組みについて拝聴。
読谷村でつくつたも
ずく丼、ジューシー
ばくだん、ミジュン
マス煮、とうがん
パイ：エトセトラ。:
商品となるまでのお
話を面白おかしく、
楽しくきくことがで
きました。とうがん
パイが売れると「生
産者に多い高齢者が
地域に貢献」「おじい
やおばあが元気にな
れるから」というコ
ンセプトがすごく心
に残りました。

③読谷村漁協でラン
チをいただきました。



お仕事中の颯辺美奈子さん



「店の名前は？
「店名は…実はないん
です。とほほ。ラウン

ジとか喫茶室と呼ばれ
ています」お勧めは？
「アイスコーヒ(3
70円)はおいしいと
評判です。NBC自家
製のケーキセット(5
50円)の中では、プ
ルーベリーチーズケ
ーキとチョコケーキが
お勧めです」お店のエ
ピソードは？「とても
混んでいて忙しい時に
接客していて、『ご注

さいませ」

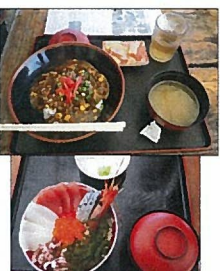


お話をラジオ局内
で拝聴。ラジオ局開



のお話をラジオ局内
で拝聴。ラジオ局開

③読谷村漁協でラン
チをいただきました。



④体験王国むら咲む
らを訪問。国吉真哲
氏(読谷ククルゾー
ト社長)よりむら咲
むらの取り組みにつ
いて拝聴。ホテルの
ルームナンパーが沖
縄の名字というアイ



「いちへき泰期まつり」を行って、おまつりで屋台の食べ物(飲み物)を美味しくいただいたんです。島マス塾生一人の食癖も見れて？楽しかったです。

⑤ゆんた市場を訪問。ここでも島マス塾生の変った食癖を発見できて楽しかったです。

楽しい時間を過ごせました。充実したツアーでした。会長！とうがんパイ、その他もろもろ、ごちそうさまでした。これからも宜しくお願い致します。(彰吾)

▼研修ツアーのこと話してまわって、



話しを聞けば聞くほど、地域への愛が伝わってきて、もつと読谷の事が知りたくなってきました。

次に、読谷村のコミュニティビジネスについて、山内嘉親さんにお話ししていただきました。

その次に読谷村に

たのですが、肝心の感想が遅くなってしまいました。ごめんなさい。まず最初にFMよみたんの取り組みについて、仲宗根朝治さんにお話ししていただきました。

こんなにも感情移入しながら、話に引き込まれていったのは、仲宗根さんの熱い想いが伝わり、また魅力的な人柄からだと思えます。

15年間うまく村おこしができなかったフランチトレーションから6名がお金を出し合い、会社が出来上がったと聞き、フランチトレーションもこうやって原動力へ変えることができると驚きました。



田さん 神田さん
手のかれさまでした！
運転のおつかいありがとうございました！

い仕事と辛い仕事をし、モチベーションを上げるとい言葉聞き、なるほど！と納得しました。きつと、仕事を楽しいと感じるからこそ、いろいろアイディアが出てきて、挑戦できるパワーへと繋がっているんですね。

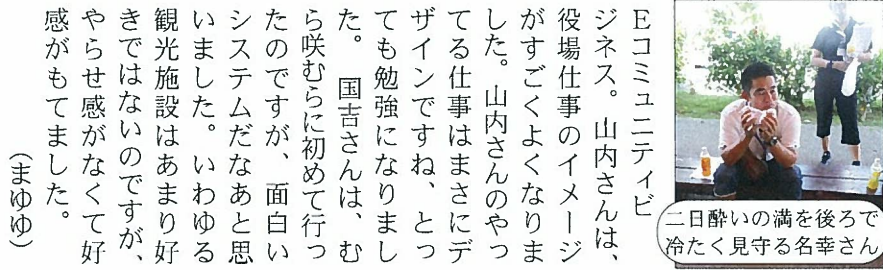
とうがんパイは衝撃でした！そしておいしかった！とうがんパイに出会えた事が嬉しくて、いろいろな方にとうがんパイが出来るまでの過程をお話しして、おすすめしました。

ついで、国吉真哲さんにお話ししていただきました。何度か利用していたのですが、体験工房がむら咲むらの従業員の方々ではなく、テナントだと初めて知りました。テナント同士がライバルであり、仲間であるからこそ、お客様を楽しませよう、よりよいサービスを提供しようと同じベクトルで向上していけるのかなと思えました。信じるものをつくるもうける地域に貢献するという言葉が印象的でした。今回読谷村の視察研修ツアーに参加することにより、沖繩市はどうなんだろう、どんなことができるんだろうと考えるきっかけになりました！みなさんと出会えた縁を大切に、作り上げていきたいなを思いました！

国吉さんは、むら咲むらに初めて行っただけですが、面白いシステムだなと思いました。いわゆる観光施設はあまり好きではないのですが、やらせ感がなくて好感がもてました。



夏美の誕生日ケーキを鼻につけてポーズ！



二日酔いの満を後ろで冷たく見守る名幸さん

Orion presents W番外泡盛酒造所めぐりツアー

